



中部電力パワーグリッド

資料 3



# 500kV関ヶ原北近江線新設

環境影響評価審査会

2025年2月19日

## 対象事業の目的、内容

---

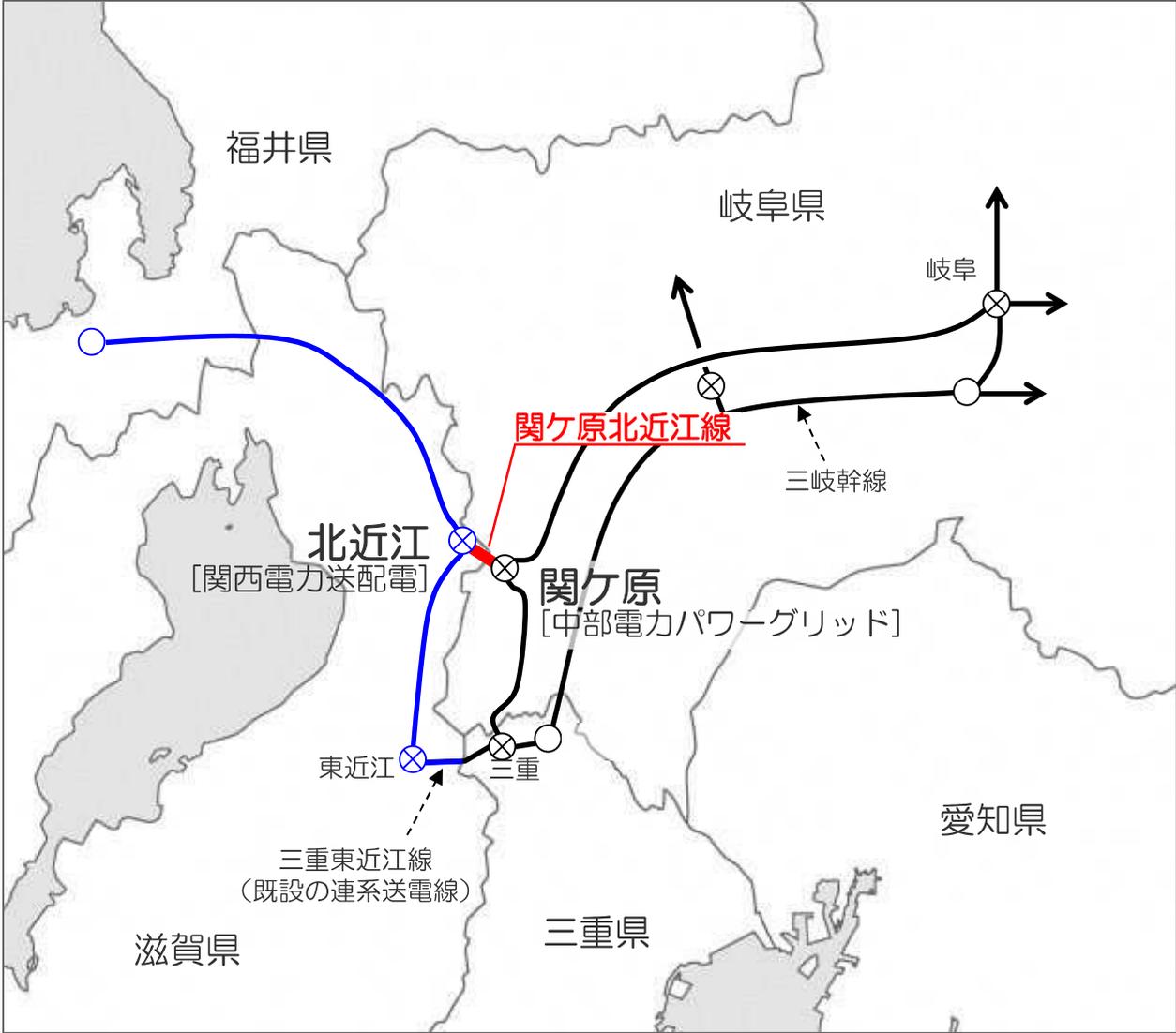
電力広域的運営推進機関が策定した

「中部関西間連系線に係る広域系統整備計画」に基づき、  
中部電力パワーグリッドが新設する関ヶ原開閉所と、  
関西電力送配電株式会社が新設する北近江開閉所との間に、  
500kV関ヶ原北近江線を2030年6月に新設する。

なお、岐阜県環境影響評価条例の対象事業は

「電圧25万V以上の電線路の設置（新設）」であり、  
開閉所は電線路ではないため、条例対象外となります。

# 対象事業の目的、内容



凡 例

**今回対象事業**

**500kV 関ヶ原北近江線**

その他設備

— 既設送電線 (500kV)

○ 変電所

⊗ 開閉所

他社設備

— 既設送電線 (500kV)

○ 変電所

⊗ 開閉所

# 対象事業の目的、内容

## ○今回対象事業

500kV 関ヶ原北近江線新設

## ○事業予定地

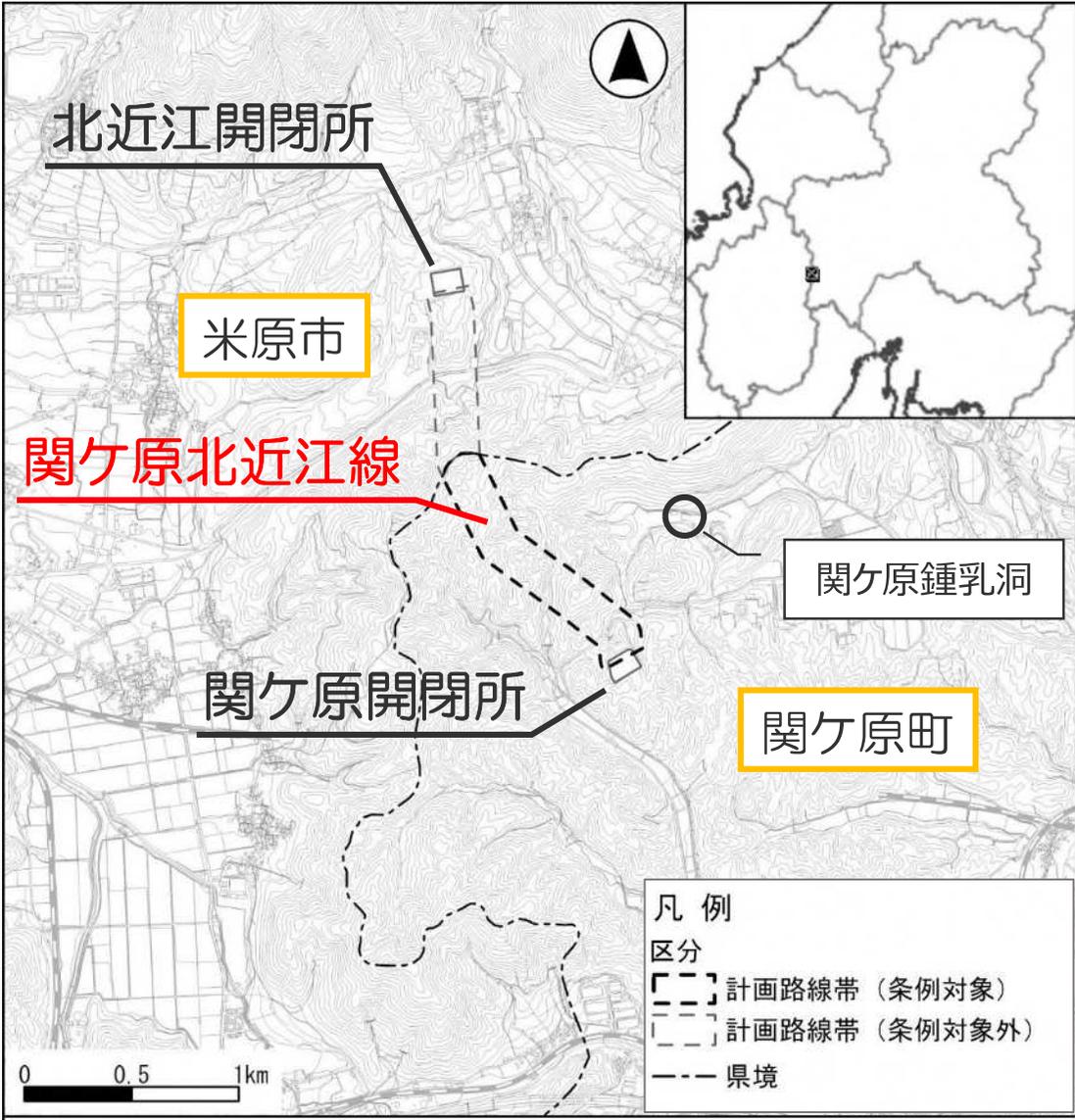
岐阜県不破郡関ヶ原町  
滋賀県米原市

## ○路線の巨長

約 2.1 km  
岐阜県内 約 1.3 km、  
滋賀県内 約 0.8 km

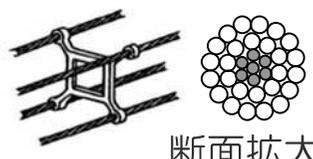
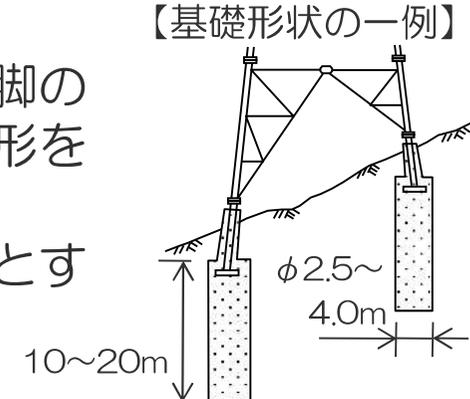
## ○路線の区間

関ヶ原開閉所[岐阜県不破郡関ヶ原町]  
～北近江開閉所[滋賀県米原市]



# 設備計画（標準構造）



鉄塔	高さ：60～100 m 基数：5基
架空地線	雷による停電故障を低減させるために、避雷針の役目をする。
電線	電気を流す導体（アルミ製）。4本を束ねて1組とする。  断面拡大
がいし	磁器製の絶縁物であり鉄塔に電気が流れないようにする。
基礎	地形に合わせて鉄塔の脚の長さを調整し、自然地形を変えないようにする。地盤条件に応じた形状とする。  【基礎形状の一例】 10～20m φ2.5～4.0m

# 工事工程

	2027年度		2028年度		2029年度		2030年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
準備工事								
基礎工事	10月着手							
組立工事								
架線工事							6月完工	
緑化工事								

基礎工事



組立工事



架線工事

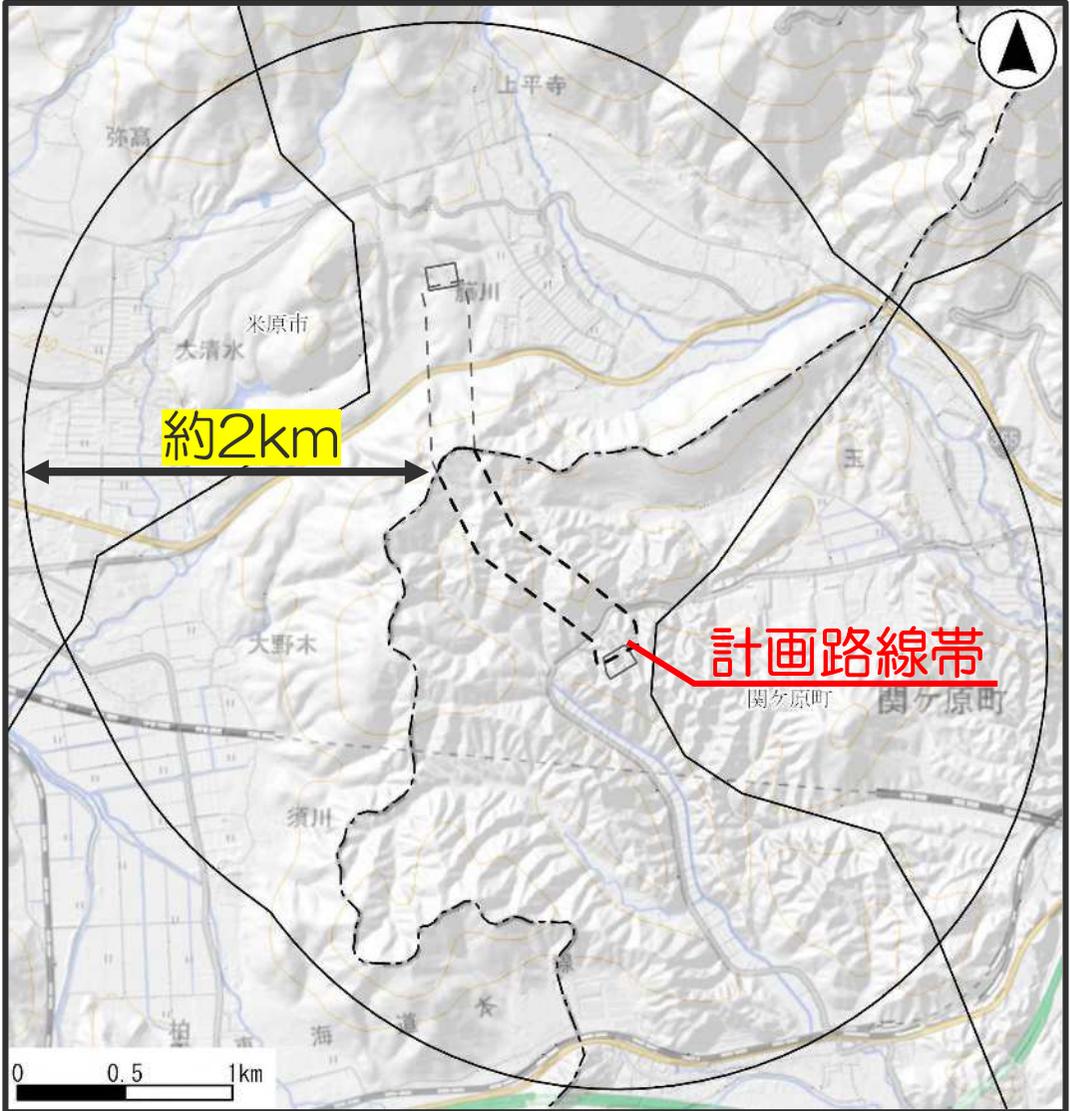


# 対象地域が実施されるべき区域及び調査の範囲

## 概況調査地域

計画路線帯から約2km  
(岐阜県関ヶ原町, 滋賀県米原市)

周囲の現況 



- 凡例
- 区分
-  計画路線帯 (条例対象)
  -  計画路線帯 (条例対象外)
  -  既設送電線
  -  概況調査地域
  -  県境